「夢を育み、感動・笑顔・歌声あふれる学校」

東野小学校だより 2月号

学校教育目標

おおらかで　たくましく
進んで学ぶ子
地域とともに生きる子

新座市立東野小学校
令和５年１月３１日（火）
TEL:479-7280　FAX:482-6794
HP:http://www.c-niiza.ed.jp/e-higashino/

今年も漢字検定が実施できました

校長　金澤　勇一

漢検の様子　真剣そのものでした

１月からたいへん厳しい寒さが続いています。引き続き、新型コロナウイルス感染防止の徹底を図りながらの教育活動でしたが、感染が拡大して、あわただしい新年となりました。強い風が吹く日がありましたが、子どもたちは毎日元気に登校し、校庭では、寒さや強風に負けずに元気よく遊ぶ姿をたくさん見ることができました。２月４日は立春です。暦の上では、春を迎えます。学校の樹木も冬を乗り越え、寒さの中でもしっかりとつぼみを膨らませ、春への備えを進めています。

この３年間、猛威を振るった新型コロナウイルスですが、５月連休明けには２類から５類相当まで引き下げられると発表がありました。マスクについても、様々な議論がされています。３年間付け続けてきたマスクですので、簡単にとれるかどうか。マスクを取ったことで感染が広がったらどうなのか、心配です。今後も情報を皆さんと情報を共有しながら、感染防止に努めてまいります。

さて、１月２８日（土）に、東野小学校を準会場として漢字検定を行いました。本校では、おやじの会をはじめ、たくさんのみなさんにご協力いただいて実施ができています。今年度もコロナ禍にも関わらず、２５０名を超える志願がありました。昨年欠席した子たち（中１の生徒も含め）や１年生も漢検の問題集に取り組むなど、とても意欲的でした。

本校の成果と課題　学校評価のために、保護者アンケートにご協力、そして貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。引き続き、学校運営に生かしてまいります。

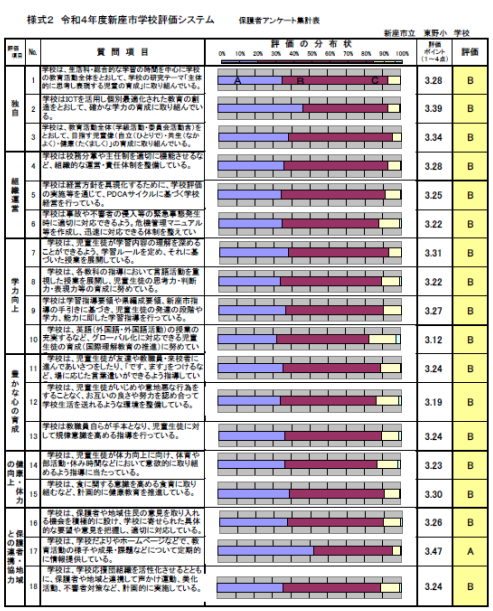
教職員の自己評価から

評価ポイントで、Ａ評価がなくオールＢとなりました。中でも・ＩＣＴ活用・外国語、英語の授業・情報提供について比較的高ポイントでした。タブレット端末を使用した授業により、児童の考えや感想をまとめたり、先生からの課題に取り組んだりできるなど、効果的に活用できたと考えています。ポイントが低かった項目は、挨拶です。コロナ禍で大きな声を出さないようにしていたため、なかなか挨拶も難しかったためだと考えます。代表委員会による「あいさつ運動」の協力により、元気な挨拶が戻りつつあります。保護者アンケートの記述に、先生の挨拶ができていないのではとのご意見もいただいています。教職員を含め、学校全体で挨拶に取り組んでいきたいと思います。

保護者アンケートから

情報提供について、Ａ評価をいただきました。学校だよりやホームページの活用で、児童や教職員の頑張っているところを中心にお知らせしているところが評価されたのかと思います。今後も、新しい情報をいち早くお知らせできるよう努力してまいります。他の項目には、Ｂ評価をいただきましたが、中でも低いものが、・外国語、英語について・いじめについてでした。外国語を含め、授業や行事を参観していただく機会が少なかったためだと考えています。１月の授業参観には、たくさんの保護者のみなさんに来校いただきました。来年度は授業参観や行事を増やし、来校いただく機会を増やしていきたいと思います。また、いじめにつきましては、学年や生徒指導と連携して取り組んでいますが、思うように進まないと感じた方もいらっしゃると思います。問題がおきた時の校内体制と児童・保護者のみなさんとの連携をさらに深めてまいります。

これからも、「夢を育み、感動・笑顔・歌声あふれる学校」を目指して取り組んでまいります。これには、家庭・地域のみなさんの協力が必要不可欠です。今後ともご理解、ご支援をお願いします。


様式2　令和4年度新座市学校評価システム　保護者アンケート集計表

新座市立　東野小　学校

評価項目	No.	質問項目	評価の分布状	評価ポイント（1～4点）	評価
教育課程	1	学校は、年間・週・日の効果的な学習の時間を中心に学校の教育活動全体を通じて、学校の研究テーマ（主体的に思考し表現する児童の育成）に取り組んでいる。		3.28	B
	2	学校は10Tを活用し、個別最適化された教育の創造をとおして、自律（児童は（自立）ひとり）・共生（なかよく）・健康（たくましく）の育成に取り組んでいる。		3.39	B
	3	学校は、教育活動全体（学級活動・委員会活動等）をとおして、自律（児童は（自立）ひとり）・共生（なかよく）・健康（たくましく）の育成に取り組んでいる。		3.34	B
組織運営	4	学校は校務分掌や主任制を適切に機能させるなど、組織的な運営・責任体制を整備している。		3.28	B
	5	学校は経営方針を具現化するために、学校評価の実施等を通じて、PDCAサイクルに基づく学校経営を行っている。		3.25	B
	6	学校は事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう、危機管理マニュアル等を作成し、迅速に対応できる体制を整えている。		3.22	B
学力向上	7	学校は、児童生徒が学習内容の理解を深めることができるよう、学習ルールを定め、それに基づいた授業を展開している。		3.31	B
	8	学校は、各教科の指導において言語活動を重視した授業を展開し、児童生徒の思考力・判断力・表現力等の育成に努めている。		3.22	B
	9	学校は学習指導要領や義務教育標準、新座市指導の手引きに基づき、児童生徒の発達の段階や学力、能力に即した学習指導を行っている。		3.27	B
	10	学校は、英語（外国語・外国語活動）の授業の充実するなど、グローバル化に対応できる児童生徒の育成（国際理解教育の発達）に努めている。		3.12	B
豊かな心の育成	11	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつをしたり、「ですます」をつけるなど、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。		3.24	B
	12	学校は、児童生徒がいじめや差別感をなくすることなく、お互いの良さや努力を認め合って学校生活を送れるような環境を整備している。		3.19	B
	13	学校は教職員自らが手本となり、児童生徒に対して規律意識を高める指導を行っている。		3.24	B
健康の向上・体力	14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、体育や部活動・休み時間などにおいて意欲的に取り組めるよう指導に当たっている。		3.23	B
	15	学校は、食に関する意識を高める食育に取り組むなど、計画的に健康教育を推進している。		3.30	B
地域と学校の連携・協働	16	学校は、保護者や地域住民の意見を取り入れる機会を積極的に設け、学校に寄せられた具体的な要望や意見を把握し、適切に対応している。		3.26	B
	17	学校は、学校だよりやホームページなどで、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。		3.47	A
	18	学校は、学校応援団組織を活性化させるとともに、保護者や地域と連携して声かけ運動、美化活動、不審者対策など、計画的に実施している。		3.24	B